

京都金銀糸振興協同組合の取組

昭和26年10月に京都の間屋側との対応と生産地としての基盤確保、発展を図るため、京都金銀糸振興協同組合を設立。昭和29年には今の名称である京都金銀糸振興協同組合に変更し、組合組織が大きく強化されました。

現在も、地域地場産業の振興に大きな役割を果たしており、毎年、JOYO産業まつりにおいて、製造工程動画でのPRや、和装小物や布の販売などを行い、金銀糸の歴史や技術を産業文化として、次代に伝えています。



京山城燦彩糸協議会の取組



「金銀糸」の活性化の切り口を模索するため、平成17年度に城陽商工会議所のプロジェクトとして、海外進出に向けて協業組織の基盤造り、海外進出戦略の策定および市場の調査、クリエイター向けのツール開発を行う「金銀糸資源活用プロジェクト」がスタート。平成21年度にはJAPANブランド育成支援事業に採択されました。また、平成23年度には市場投入が可能な試作品開発に取り組み、コラボレーションのタイプを体系化し提示することで新たな取組先を開拓する活動の実行組織として、「京山城燦彩糸協議会」を設立しました。

現在では、新商品の開発・改良や展示会への出展を通じた販路拡大を行うとともに、百貨店での催事への出店やインターネットでの通信販売などの活動を行っています。

燦彩糸商品の紹介はQRコード参照



竹村 信行さん (現代の名工)



城陽市はその立地から京都を代表する文化産業の西陣織を支える「金銀糸のまち」として発展してきました。

城陽市で金銀糸の製造が始まった頃は、和紙に金箔や銀箔を貼って糸状に裁断した金銀糸が主流でしたが、現在はポリエステルフィルムを着色して作った金銀糸が主流となるなど、金銀糸製造の環境も大きく変化してきました。

このような環境の変化を乗り越えてきた素晴らしい技術を持った事業者が多く集まるまちは他にないと思います。

今後、城陽市には新名神高速道路の全線開通などの非常に大きな変化が訪れます。市の地場産業である金銀糸事業者の一員として、様々な取組を通じて、市を盛り上げていきたいと思っています。



京都城陽 金銀糸

令和2年(2020年)3月
城陽市まちづくり活性部商工観光課 発行

〒610-0195
京都府城陽市寺田東ノ口16番地、17番地
TEL(0774)56-4019

京都 城陽



—Gold and Silver Brilliant Thread—
Joyo, Kyoto ~The Largest source in Japan~



金銀糸って

世界の織物産業を支える重要な素材、「金銀糸」の特産地である城陽市。西陣織や金襴織、祇園祭の鉾の懸装品に使われるなど、伝統産業の一端を担っているだけでなく、和装洋装問わず幅広く利用されています。

城陽市の金銀糸産業は、幕末期に始まり、明治に入ってから農家の副業として発展。地下水がもたらす適度な湿気により、様々な金銀糸加工の工程を担う事業者が集まっており、日本を代表する集積産地となっています。

現在では、ポリエステル・フィルムや真空蒸着法などの先端技術の開発によって、多色化と量産化を実現しており、さらに、ナイロンやポリエステルの表面に銀をメッキした繊維などにも応用された導電性繊維としても活用されるなど、金銀糸の活用分野は日本各地だけでなく、世界にも拡がり続けています。

金銀糸ができるまで

純金箔で作られる本金糸の製造工程

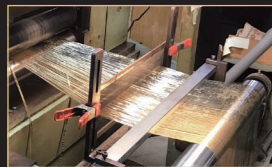
純金の箔を使って作られる高級糸である本金糸。今も受け継がれる匠の粋を集結させた伝統技術で作られています。



漆紙
金箔が貼り付けられるよう、高級和紙に漆を塗っていきます。



箔押し
漆を塗った高級和紙に、手作業で金箔を丁寧に何枚も貼っていきます。

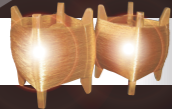


裁断
昔ながらの裁断機で裁断。均等に裁断するには長年の経験が必要。



撚糸
均等な太さの美しい糸に仕上げするために、丁寧に撚っていきます。

よりいと
撚糸完成



大量生産可能な金銀糸の製造工程

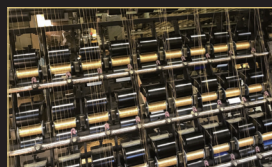
大量生産可能な金銀糸は、ポリエステルフィルムに金属をメッキし、和装品、洋装品、インテリア材料、アクセサリーなど、様々なシーンで活用されています。



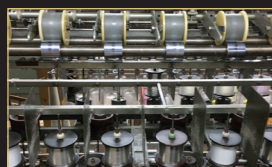
蒸着
ポリエステルフィルムに金属をメッキします。



着色
キラキラ輝く状態のものに、色づけします。



スリッターにて裁断(スリット)
大切スリッター、その後マイクロスリッターで細く裁断します。



撚糸
様々な用途に合わせた、撚りの技術で完成していきます。

よりいと
撚糸完成



《城陽市の金銀糸業者》

金銀糸の製造に携わる事業所のほとんどは分業化が進み、一部の工程に特化しているという特徴があります。

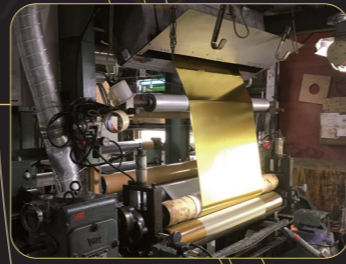


服部商店 漆紙

本金糸の製造工程の一番初めの工程である、和紙に漆を塗る工程を担当している。

弘和産業株式会社 着色

着色(フィルムコーティング)事業を行っている。金銀糸以外の新たな分野へも進出している。



有限会社 アクト崎川 スリット

製造工程の一つであるスリットを実施。日本で唯一、極細の0.1mmスリットに成功。



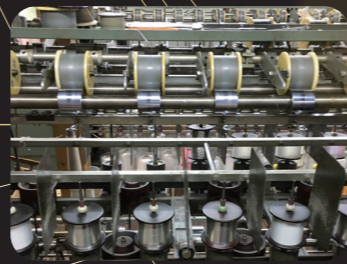
有限会社 高須産業 スリット

佐賀錦(縦糸に金銀箔を紙に貼って細かく切ったもの、横糸に多彩な絹糸を用いて、幾何学模様や絵模様を織り出した錦織物)の帯の材料を製造している。



竹村撚糸工業 撚り

創業から130年以上続いている金銀糸加工の老舗。先代が撚りの機械化を図るなど、金銀糸の発展に寄与。平成28年度に現代の名工を受賞するなど、卓越した技術を有するほか、京山城燦彩糸協議会の会長も務めている。

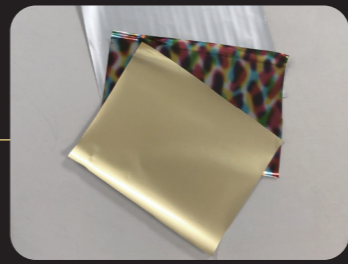


大石箔加工所 箔押し

本金糸の製造工程の一つで、漆を塗って目止めをした和紙に金箔などを貼る箔押しの工程を担当している。

山吉漆紙工業有限会社 着色

製造工程の一つであるポリエステルフィルムへの着色を行っている。



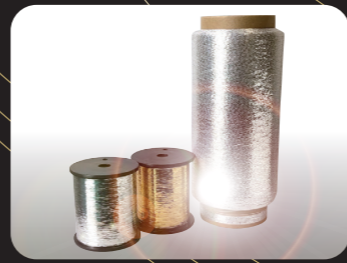
藤原金糸工業 スリット

西陣をはじめ、多くの地域の事業者との取り引きを実施。フィルムだけでなく紙や和紙のスリットも行う。



木村撚糸 撚り

創業してから約80年、主に撚糸の工程を担当しており、以前は丸撚りを行っていたが、今の代で羽衣撚りを始め、現在は様々な特殊撚りを取り扱っている。



泉工業株式会社 全工程

製造工程のほぼ全てを行える、一貫生産体制が整った市内唯一の金銀糸メーカー。



未来へ!! 技術を応用して
こんな分野にも展開!!

有限会社アクト崎川では、マイクロスリットだけでなく製品の開発も行っており、金銀糸を原材料にパントやハンカチを作るなど、新たな販路拡大を模索しています。



弘和産業株式会社では、着色(フィルムコーティング)の技術を用いて、遮光性や断熱性等の様々なフィルムを作成し、窓ガラスなどに断熱フィルムとして利用されるなど、金銀糸以外の新たな分野への進出を積極的に行っています。

